



Cisco Secure Network Server 3800 シリーズ アプライアンスハードウェア設置ガイド

最終更新：2025 年 11 月 14 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED “AS IS” WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

Cisco Secure Network Server 3800 シリーズ アプライアンス 1

Cisco Secure Network Server 3800 シリーズ アプライアンスの紹介 1

Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様 2

外部機能 3

ステータス LED およびボタン 5

前面パネル LED 5

内部診断 LED 7

サービス可能なコンポーネントの場所 8

サーバー機能の概要 9

第 2 章

アプライアンスの設置 11

設置に関する警告およびガイドライン 11

ラック要件 12

ラックへのアプライアンスの取り付け 13

ケーブルマネジメントアームの取り付け 16

ケーブルマネジメントアームを逆に取り付け 18

初期設定 18

設定時のアプライアンスへのローカル接続 19

設定時のアプライアンスへのリモート接続 20

Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ 22

BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新 24

システム BIOS へのアクセス 24

スマートアクセスシリアルをサポート 25

HDD/SSD 交換後の RAID コントローラの設定 25

既存のHDDまたはSSDの交換	26
RAID コントローラの設定	26
SED のドライブセキュリティの有効化	27

第 3 章

アプライアンスの仕様	29
物理仕様	29
環境仕様	29
電源仕様	30
1200 W AC 電源装置	30
電源コードの仕様	31



第 1 章

Cisco Secure Network Server 3800 シリーズ アプライアンス

- [Cisco Secure Network Server 3800 シリーズ アプライアンスの紹介 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様 \(2 ページ\)](#)
- [外部機能 \(3 ページ\)](#)
- [ステータス LED およびボタン \(5 ページ\)](#)
- [サービス可能なコンポーネントの場所 \(8 ページ\)](#)
- [サーバー機能の概要 \(9 ページ\)](#)

Cisco Secure Network Server 3800 シリーズ アプライアンス の紹介

Cisco Secure Network Server (Cisco SNS) 3800 シリーズ アプライアンスは、Cisco Unified Computing System (Cisco UCS) C225 M8 ラックサーバーに基づいており、特に Cisco Identity Services Engine (Cisco ISE) をサポートするように構成されています。Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスは、幅広いワークロードで高いパフォーマンスと効率性を提供するように設計されています。

Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスには次のモデルがあります。

- Cisco SNS 3815 (SNS-3815-K9)
- Cisco SNS 3855 (SNS-3855-K9)
- Cisco SNS 3895 (SNS-3895-K9)

Cisco SNS 3815 アプライアンスは、小規模な展開に適しています。Cisco SNS 3855 および Cisco SNS 3895 アプライアンスには、ハードディスクや電源などの複数の冗長コンポーネントがあり、信頼性の高いシステム構成を必要とする大規模な展開に適しています。PAN および MnT ペルソナには Cisco SNS 3895 が推奨されます。



(注) Cisco SNS 3855 アプライアンスは、1つのハードディスクまたは4つのハードディスクで構成できます。Cisco SNS 3855 アプライアンスが1つのハードディスクのみで構成されている場合は、PSN または pxGrid のペルソナのみを有効にすることを推奨します。

Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様

次の表では、Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスのハードウェア仕様について説明します。

表 1: Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスハードウェアの仕様

Cisco SNS 3800 シリーズ アプ ライアンス	RAM	CPU コア	ハードディス ク数	総ディスク容 量	RAID
Cisco SNS-3815-K9	64 GB	コア X 16、ス レッド X 32	NVME-1	960 GB	NA
	64 GB	コア X 16、ス レッド X 32	SED-1	960 GB	[RAID-0]
	64 GB	コア X 16、ス レッド X 32	SED-FIPS-1	1.6 TB	[RAID-0]
Cisco SNS-3855-K9	128 GB	24 コア、48 ス レッド	NVME-1	960 GB	NA
	128 GB	24 コア、48 ス レッド	NVME-4	1.9 TB	RAID-10
	128 GB	24 コア、48 ス レッド	SED-1	960 GB	[RAID-0]
	128 GB	24 コア、48 ス レッド	SED-4	1.9 TB	RAID-10
	128 GB	24 コア、48 ス レッド	SED-FIPS-1	1.6 TB	[RAID-0]
	128 GB	24 コア、48 ス レッド	SED-FIPS-4	3.2 TB	RAID-10

Cisco SNS 3800 シリーズ アプ ライアンス	RAM	CPU コア	ハードディス ク数	総ディスク容 量	RAID
Cisco SNS-3895-K9	256 GB	24 コア、48 ス レッド	NVME-8	3.8 TB	RAID-10
	256 GB	24 コア、48 ス レッド	SED-8	3.8 TB	RAID-10
	256 GB	24 コア、48 ス レッド	SED-FIPS-8	6.4 TB	RAID-10

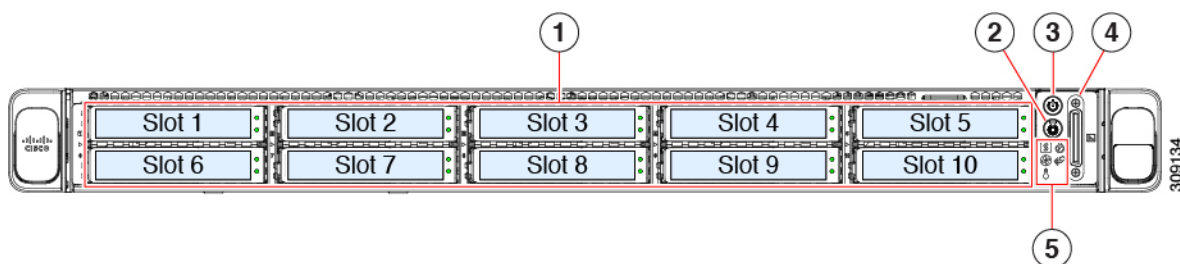
外部機能

この項では、Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの外部機能について説明します。

Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの前面パネルの機能

次の図は、Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの前面パネルの機能を示しています。

図 1: Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの前面パネル



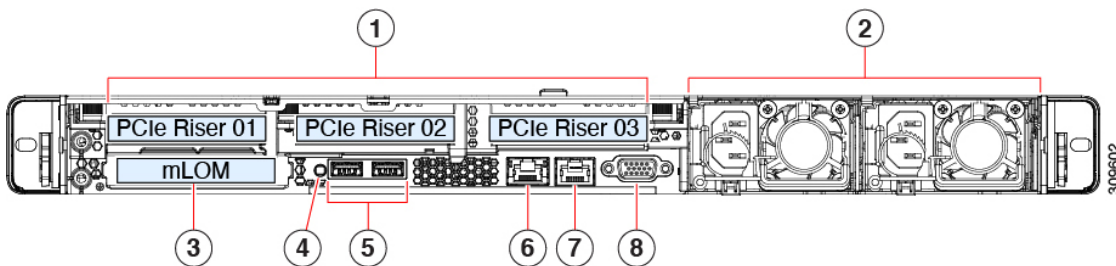
1	シリアル接続 SCSI (SAS) および Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ハードディスクドライブ (HDD) とソリッドステートドライブ (SSD) をサポートします。 ドライブベイ 1～4 は SSD 用に最適化されています。 ドライブベイ 5～10 は SAS/SATA HDD 用に最適化されています。SSD には推奨されません。	2	ユニット識別ボタンまたは LED
3	電源ボタンまたは電源ステータス LED	4	KVM コネクタ (1 つの DB-15 VGA コネクタ、1 つの DB-9 シリアルコネクタ、および 2 つの USB 2.0 コネクタを備えた KVM ケーブルで使用)

5	システム LED クラスタには、以下が含まれます。 • ファン ステータス LED • システム ステータス LED • 電源ユニットのステータス LED • ネットワーク リンク アクティビティ LED • 温度ステータス LED		—
---	---	--	---

Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの背面パネルの機能

次の図は、Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの背面パネルの機能を示しています。

図 2: Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの背面パネル



1	• ライザー 1 : • ライザー 1A (PCIe Gen4) : ハーフハイト、3/4 長、x16、ネットワーク コントローラ サイドバンド インターフェイス (NCSI)、シングル幅グラフィックス処理ユニット (GPU)。 • ライザー 1B (PCIe Gen5) : ハーフハイト、3/4 長、x16、NCSI、シングル幅 GPU。 • ライザー 2 : • ライザー 2A (PCIe Gen4) : ハーフハイト、3/4 長、x16、シングル幅 GPU。 • ライザー 2B (PCIe Gen5) : ハーフハイト、3/4 長、x16、シングル幅 GPU。 • ライザー 3 : • ライザー 3A (PCIe Gen4) : ハーフハイト、3/4 長、x16、NCSI、シングル幅 GPU。		
2	電源ユニット	3	モジュラ LAN-on-motherboard (mLOM) カードベイ (x16 PCIe レーン)
4	システム識別ボタンまたは LED	5	USB 3.0 ポート (2 個)
6	1 GB イーサネット専用管理ポート	7	COM ポート (RJ-45 コネクタ)

8	VGA ビデオ ポート (DB-15 コネクタ)		—
---	--------------------------	--	---

ステータス LED およびボタン

ここでは、LED の状態の解釈について説明します。

前面パネル LED

次の図は、Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの前面パネルの LED を示しています。

図 3: 前面パネル LED

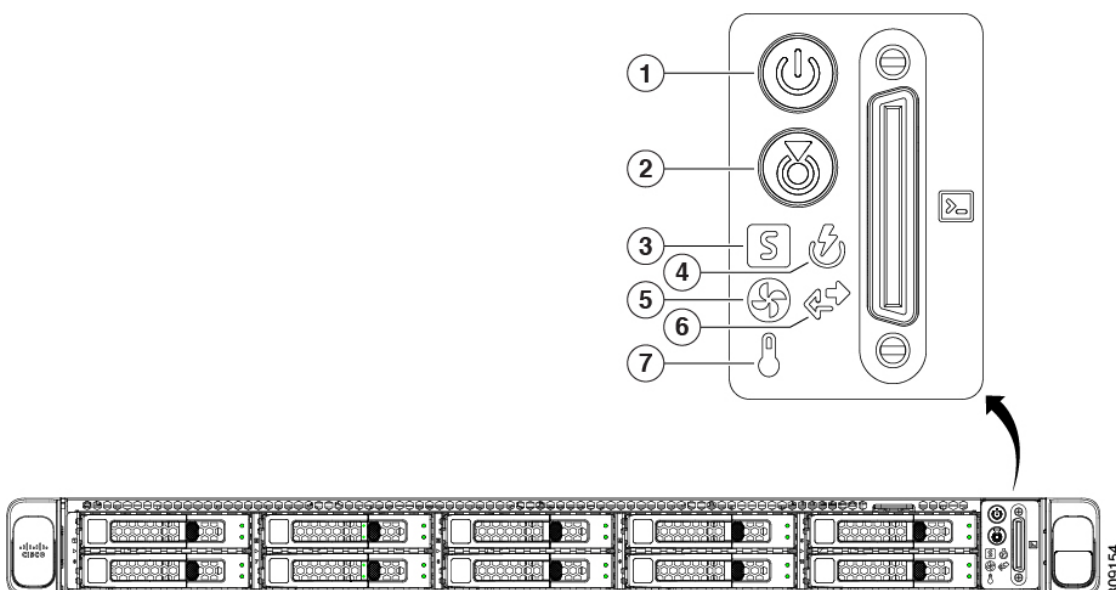


表 2: 前面パネル LED

	LED 名	状態
1	電源ボタンまたは LED (🔌)	• 消灯：サーバーに AC 電力が供給されていません。 • オレンジ：サーバーはスタンバイ電源モードです。Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) と一部のマザーボード機能にだけ電力が供給されています。 • 緑：サーバーは主電源モードです。すべてのサーバコンポーネントに電力が供給されています。
2	ユニット識別 (🔍)	• 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブになっています。

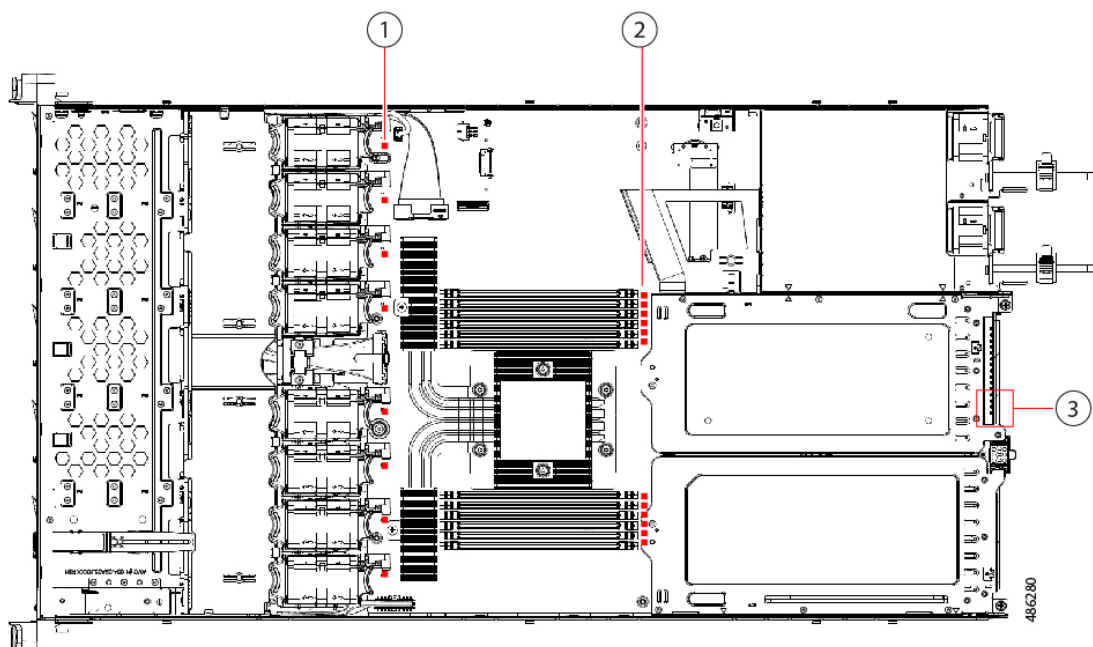
3	システムの正常性 ()	• 緑：サーバーは正常動作状態で稼働しています。 • 緑の点滅：サーバーはシステムの初期化とメモリチェックを実行しています。 • オレンジの点灯：サーバーは縮退運転状態にあります（軽度の障害）。次に例を示します。 • 電源装置の冗長性が失われている • CPU が一致しない • 少なくとも 1 つの CPU に障害が発生している • 少なくとも 1 つの DIMM に障害が発生している • RAID 構成内の少なくとも 1 台のドライブに障害が発生している • オレンジの点滅（2 回）：システムボードで重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅（3 回）：メモリ（DIMM）で重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅（4 回）：CPU で重度の障害が発生しています。
4	電源ステータス ()	• 緑：すべての電源装置が正常に動作しています。 • オレンジの点灯：1 台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。 • オレンジの点滅：1 台以上の電源装置が重大な障害発生状態にあります。
5	ファンステータス ()	• 緑：すべてのファンモジュールが正常に動作中です。 • オレンジの点滅：1 つ以上のファンモジュールで回復不能なしきい値を超えました。
6	ネットワーク リンク アクティビティ ()	• 消灯：イーサネット LOM ポートリンクがアイドル状態です。 • 緑：1 つ以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。 • 緑の点滅：1 つ以上のイーサネット LOM ポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。

7	温度ステータス (🌡️)	• 緑：サーバーは正常温度で稼働中です。 • オレンジの点灯：1 つ以上の温度センサーが重大なしきい値を超えました。 • オレンジの点滅：1 つ以上の温度センサーが回復不能なしきい値を超えました。
---	--------------	--

内部診断 LED

次の図は、Cisco SNS 3800 シリーズ アプライアンスの内部診断 LED を示しています。

図 4: 内部診断 LED の場所



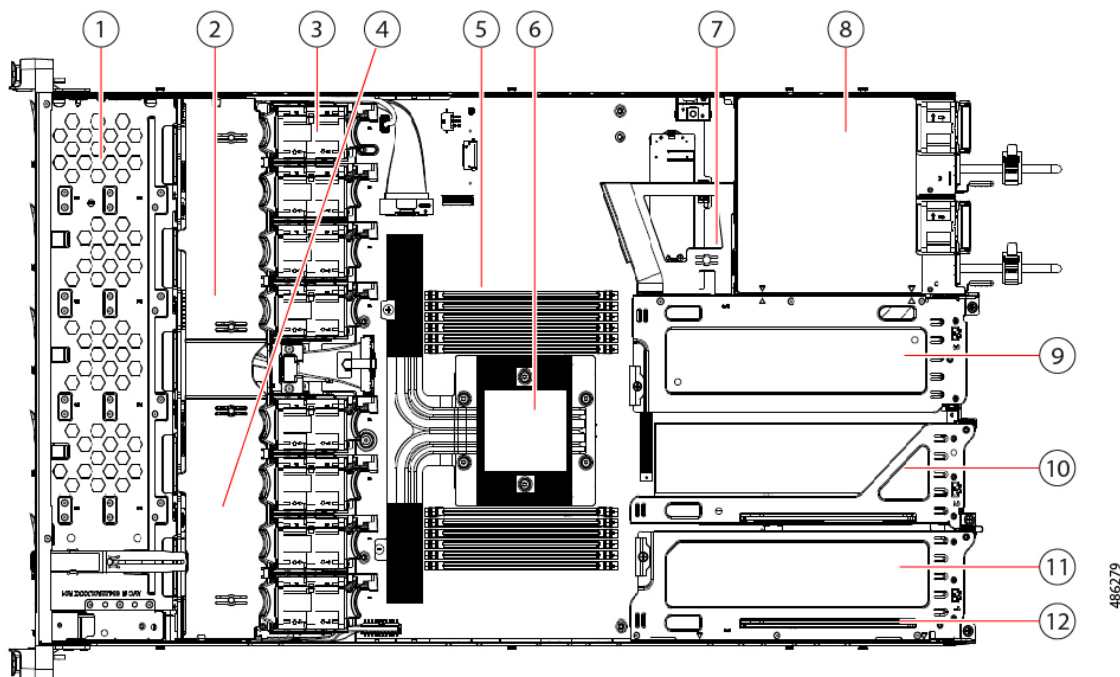
1	ファンモジュール障害 LED (マザーボード上の各ファン コネクタの後方に 1 つ) • オレンジ：ファンに障害が発生しているか、しっかりと装着されていません。 • 緑：ファンは正常です。	2	DIMM 障害 LED (マザーボード上の各 DIMM ソケットの後方に 1 つ) これらの LED は、サーバがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。 • オレンジ：DIMM に障害があります。 • 消灯：DIMM は正常です。
---	--	---	---

3	CPU 障害 LED これらの LED は、サーバがスタンバイ電源モードの場合にのみ動作します。 • オレンジ：CPU に障害があります。 • 消灯：CPU は正常です。	-	—
---	---	---	---

サービス可能なコンポーネントの場所

次の図は、現場で交換可能なコンポーネントとサービス関連アイテムの場所を示しています。

図 5: サービス可能なコンポーネントの場所



1	フロントローディングドライブベイ 1 ~ 10 は、SAS、SATA、NVMe ドライブをサポート	2	Cisco M8 24G SAS RAID カードまたは Cisco M8 24G SAS HBA コントローラ
3	冷却ファン モジュール	4	SuperCap モジュールは、RAID 書き込みキャッシュバックアップを提供
5	マザーボード上の DIMM ソケット	6	マザーボード CPU ソケット
7	M.2 モジュールコネクタ 最大 2 台の SATA M.2 SSD へのコネクタを備えたブート最適化 RAID コントローラをサポート	8	電源ユニット

9	PCIe ライザー スロット 3	10	PCIe ライザースロット 2
11	PCIe ライザー スロット 1 :	12	シャーシフロア (x16 PCIe レーン) 上のモジュラ LOM (mLOM) カードベイ

サーバー機能の概要

次の表に、サーバー機能の概要を示します。

機能	説明
シャーシ	1 ラックユニット (1RU) シャーシ。
マルチビット エラー保護	マルチビット エラー保護をサポートします。
ビデオ	• Cisco IMC は Matrox G200e ビデオまたはグラフィックコントローラを使用してビデオを提供します。 • 組み込み DDR メモリインターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします。デフォルトで 8MB がビデオメモリに割り当てられています。 • ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコア • 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC • 第 1 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホストインターフェイス
ベースボード管理	Cisco IMC ファームウェアを実行する BMC。 Cisco IMC 設定に応じ、1 Gb 専用管理ポートまたはシスコの仮想インターフェイス カードを利用して、Cisco IMC にアクセスできます。
ネットワークおよび管理 I/O	背面パネル : • 1 Gb イーサネット専用管理ポート X1 (RJ-45 コネクタ) • RS-232 シリアル ポート (RJ-45 コネクタ) X 1 • VGA ビデオ コネクタ ポート X1 (DB-15 コネクタ) • USB 3.0 ポート × 2 前面パネル : • KVM コンソールコネクタ x 1 (USB 2.0 コネクタ x 2、VGA DB15 ビデオコネクタ x 1、シリアルポート RJ45 コネクタ x 1 を装備)

機能	説明
モジュラ LOM または OCP3 3.0 スロット	マザーボードのモジュラ LOM または OCP 3.0 専用スロットには、次のカードを装着できます。 • シスコの仮想インターフェイスカード (VIC) • OCP 3.0 ネットワーク インターフェイス カード
Advanced Configuration and Power Interface (ACPI)	ACPI 4.0 標準がサポートされています。
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタンを装備しています。
冷却	ホットスワップ可能なファンモジュール（前面から背面への冷却用） x 8。
InfiniBand	このサーバーの PCIe バス スロットは InfiniBand アーキテクチャをサポートしています。



第 2 章

アプライアンスの設置

- 設置に関する警告およびガイドライン (11 ページ)
- ラック要件 (12 ページ)
- ラックへのアプライアンスの取り付け (13 ページ)
- 初期設定 (18 ページ)
- Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ (22 ページ)
- BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新 (24 ページ)
- システム BIOS へのアクセス (24 ページ)
- スマートアクセスシリアルサポート (25 ページ)
- HDD/SSD 交換後の RAID コントローラの設定 (25 ページ)
- SED のドライブセキュリティの有効化 (27 ページ)

設置に関する警告およびガイドライン



(注) サーバの設置、操作、または保守を行う前に、『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS C-Series Servers](#)』を参照して重要な安全情報を確認してください。



警告 安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の冒頭に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。





警告 この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。



警告 この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。



警告 感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。



注意 サーバーを取り付ける際は、適切なエアフローを確保するために、レールキットを使用する必要があります。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く、つまり「積み重ねる」と、サーバーの上部にある通気口がふさがれ、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が増えたりすることがあります。サーバーをラックに取り付けるときは、これらのレールによりサーバー間で必要な最小の間隔が提供されるので、レールキットにサーバーをマウントすることを推奨します。レールキットを使用してユニットをマウントする場合は、サーバー間の間隔を余分にとる必要はありません。

アプライアンスを設置するときは、次の注意事項に従ってください。

- サーバーの周囲に、サーバーへのアクセスおよび適切な通気のための十分なスペースがあることを確認します。
- 空調が、[環境仕様（29 ページ）](#)に記載された温度要件に適合していることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、[ラック要件（12 ページ）](#)に記載された要件に適合していることを確認します。
- 設置場所の電源が、[電源仕様（30 ページ）](#)に記載された電源要件に適合していることを確認します。

ラック要件

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準 48.3 cm（19 インチ）幅、4 支柱 EIA ラック、ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサル ピッチに適合するマウント支柱付き。

- 付属のシスコ製スライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、9.6 mm（0.38 インチ）の正方形、7.1 mm（0.28 インチ）の丸形、#12-24 UNC、または#10-32 UNC になります。
- アプライアンスごとの縦方向の最小ラックスペースは、1 ラックユニット（RU）、つまり 44.45 mm（1.75 インチ）である必要があります。

ラックの設置に必要な工具

このアプライアンス用にシスコが販売しているスライドレールは、取り付けに工具が必要ありません。

スライドレールおよびケーブルマネジメントアームの寸法

アプライアンスのスライドレールの調整範囲は 610 ～ 914 mm（24 ～ 36 インチ）です。

オプションのケーブル マネジメント アーム（CMA）を使用する場合、長さの要件がさらに追加されます。

- アプライアンスの背面から CMA の背面までの距離は 137.4 mm（5.4 インチ）追加されます。
- CMA を含むアプライアンスの全長は 894 mm（35.2 インチ）です。

ラックへのアプライアンスの取り付け

ここでは、シスコが販売するサポートレールキットを使用して、アプライアンスをラックに設置する方法について説明します。



警告 ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

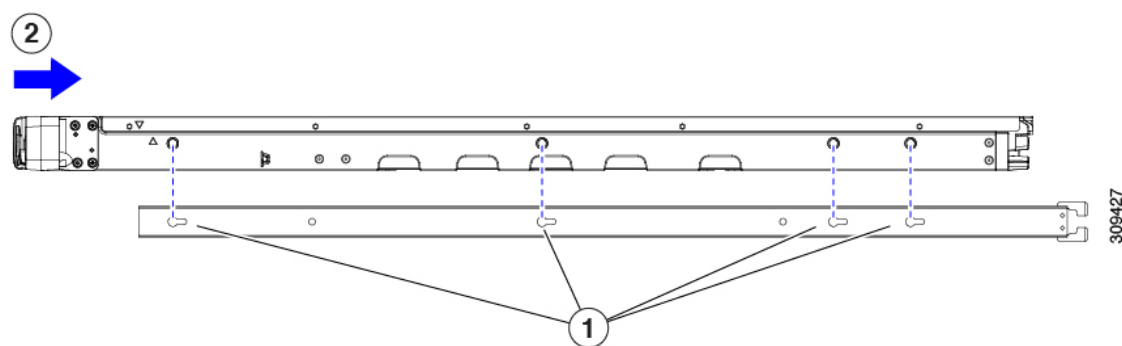
- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

手順

ステップ 1 アプライアンスの側面に内側レールを装着します。

- a) レール内の3つのキー付きスロットがアプライアンス側面の3個のペグの位置に合うように、内側レールをアプライアンスの一方の側の位置に合わせます。
- b) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。
- c) 2つ目の内側レールをアプライアンスの反対側に取り付けます。

図 6: アプライアンスの側面への内側レールの取り付け



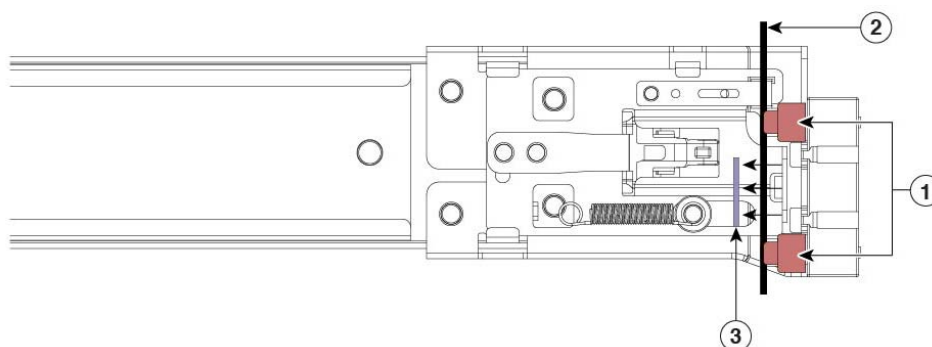
1	レールのキー付きスロット	2	アプライアンスの前面をキー付きスロットにスライドさせる
---	--------------	---	-----------------------------

ステップ 2 両方のスライド レール部品で前面の固定プレートを開きます。

スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 7: 前面の固定部分、前端の内側



1	前面側の取り付けペグ	3	開いた位置に引き戻された固定プレート
2	取り付けペグと開いた固定プレートの間のラック支柱	-	—

ステップ 3 外側のスライド レールをラックに取り付けます。

- a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。

スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部からラック支柱の穴に入ります。

(注)

ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。

- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に押し込みます。
- c) 「Push」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。
- d) スライドレールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みます。スライドレールは前面から背面に向かって水平である必要があります。

背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。

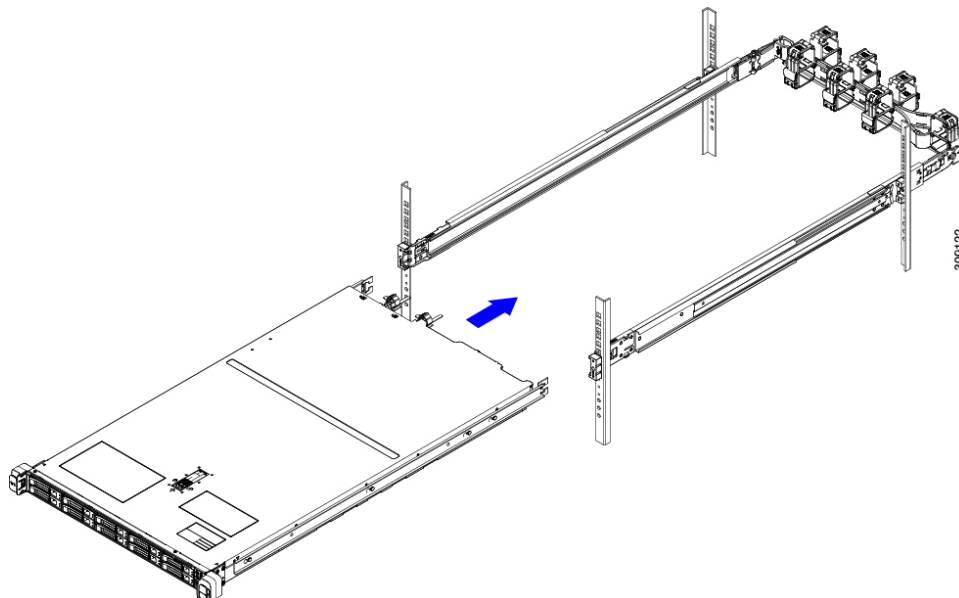
- e) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2つのスライドレール部品が同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- f) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

ステップ4 アプライアンスをスライドレールに装着します。

注意

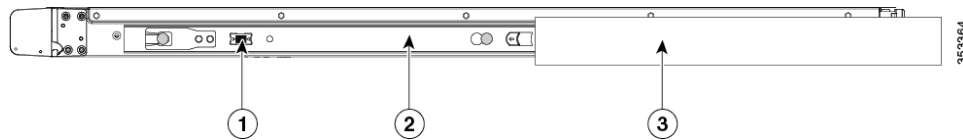
このアプライアンスは、コンポーネントがフルに搭載されている場合、最大で 27 kg (60 ポンド) の重量になります。アプライアンスを持ち上げるときは、2人以上で行うか、リフトを使用することを推奨します。この手順を1人で実行しようとすると、怪我や機器の損傷を招くおそれがあります。

- a) アプライアンスの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。
- b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。



- c) 両方の内側レールで内側レールリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、アプライアンスをラックに押し込みます。

図 8: 内側レール リリース クリップ



1	内側レール リリース クリップ	3	ラック支柱に装着されている外側スライドレール
2	アプライアンスに装着され、外側のスライドレールに挿入されている内側レール	-	—

ステップ 5 (任意) スライドレールに付属の 2 本のネジを使用して、アプライアンスをさらに確実にラックに固定します。アプライアンスを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。

アプライアンスをスライドレールに完全に押し込んだ状態で、アプライアンス前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、アプライアンスが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

ステップ 6 (任意) 該当する場合は、次の手順を実行します。

- ケーブルマネジメントアームを取り付けます。[ケーブルマネジメントアームの取り付け \(16 ページ\)](#) を参照してください。
- ロックベゼルを取り付けます。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

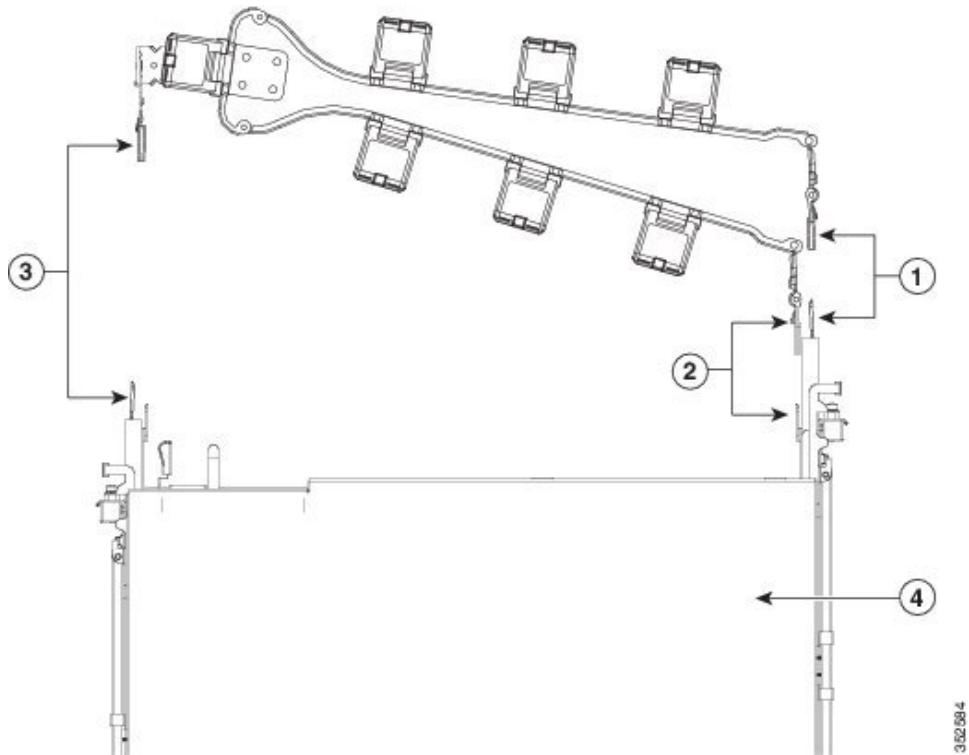


(注) CMA は左右逆に取り付けることができます。CMA を逆に取り付けるには、取り付ける前に[ケーブルマネジメントアームを逆に取り付け \(18 ページ\)](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 アプライアンスをラックに完全に押し込んだ状態で、アプライアンスから最も離れた CMA アームの CMA タブを、ラック支柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。

図 9: スライド レール後端への CMA の取り付け



1	アプライアンスから最も離れたアームのCMA タブは、外側の固定スライドレールの終端に取り付けます	3	幅調整スライダのCMA タブは、外側の固定スライドレールの終端に取り付けます
2	アプライアンスに最も近いアームのCMA タブは、アプライアンスに装着された内側のスライドレールの終端に取り付けます	4	アプライアンス背面

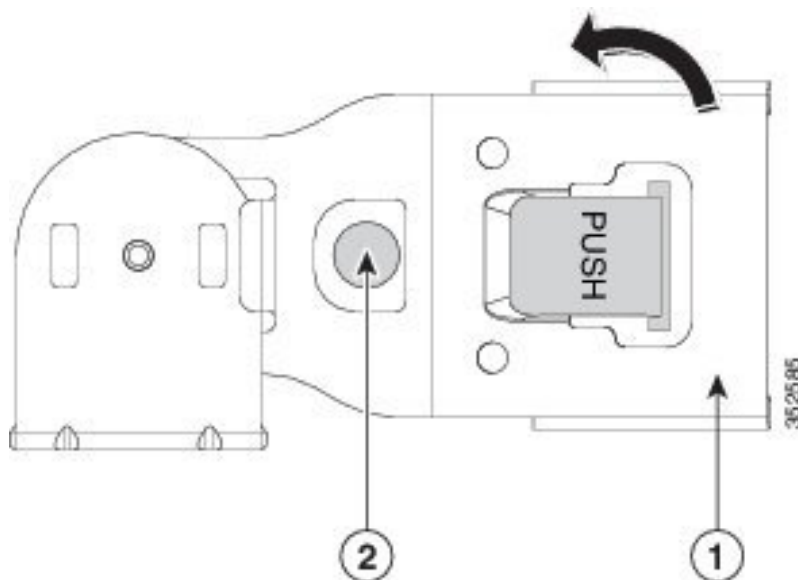
- ステップ 2** アプライアンスに最も近い CMA タブを、アプライアンスに装着された内側レールの終端にスライドさせます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 3** CMA アセンブリの反対側の終端にある幅調整スライダを、ラックの幅まで引き出します。
- ステップ 4** 幅調整スライダの終端にある CMA タブを、ラック支柱に取り付けられている固定スライドレールの終端に押し込みます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ 5** 各プラスチック製ケーブルガイドの上部でヒンジ付きフラップを開き、必要に応じてケーブルガイドを通してケーブルを配線します。

ケーブルマネジメントアームを逆に取り付け

手順

- ステップ 1** CMA アセンブリ全体を、左から右へ 180 度回転させます。プラスチック製ケーブルガイドは、上を向いたままにしておく必要があります。
- ステップ 2** アプライアンスの背面を向くように、CMA アームの終端でタブを反転させます。
- ステップ 3** 幅調整スライダの終端にあるタブを回転させます。タブの外側の金属ボタンを長押しし、アプライアンスの背面を向くようにタブを 180 度回転させます。

図 10 : CMA の反転



1	幅調整スライダの終端の CMA タブ	2	タブの外側の金属ボタン
---	--------------------	---	-------------

初期設定

この項では、初期設定のためにシステムに接続する方法について説明します。

アプライアンスのデフォルト設定

アプライアンスは次のデフォルト設定で出荷されます。

- アプライアンスに VIC がない場合、デフォルトの NIC モードは **Dedicated** です。アプライアンスに VIC がある場合、デフォルトの NIC モードは **OCP** です。

専用管理ポートを使用して Cisco IMC にアクセスする場合は、[Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ \(22 ページ\)](#) の説明に従い、アプライアンスに接続して NIC モードを変更できます。

- **Dedicated** モードでは、NIC 冗長性は **None** に設定されます。
- DHCP は有効になっています。
- IPv4 および IPv6 は有効になっています。

接続方法

システムに接続して初期設定を行うには、次の 2 つの方法があります。

- **ローカル設定**：キーボードとモニターをシステムに直接接続して設定を行う場合は、この方法を使用します。この方法では、アプライアンスの前面にある VGA ポートと USB ポートを使用します。
- **リモート設定**：専用管理 LAN 経由で設定を行う場合は、この方法を使用します。



- (注) システムをリモートで設定するには、システムと同じネットワーク上に DHCP アプライアンスが存在する必要があります。このアプライアンスノードの MAC アドレスの範囲を、DHCP アプライアンスにあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスは、前面パネルの引き抜きアセットタグにあるラベルに印字されています。このアプライアンスノードでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のものです。

設定時のアプライアンスへのローカル接続

この手順では、次の機器が必要です。

- VGA モニタ
- USB キーボード
- サポートされている Cisco KVM ケーブル、または USB ケーブルと VGA DB-15 ケーブル

手順

ステップ 1 電源コードをアプライアンスの各電源装置に接続し、次に、接地された電源コンセントに各コードを接続します。

初回セットアップ時には、アプライアンスが起動してスタンバイ電源モードになるまでに約 2 分かかります。システムの電源ステータスは、前面パネルの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバーはスタンバイ電源モードです。

ステップ 2 次のいずれかの方法を使用して、USB キーボードと VGA モニターをアプライアンスに接続します。

- オプションの KVM ケーブルを前面パネルの KVM コネクタに接続します。USB キーボードと VGA モニターを KVM ケーブルに接続します。
- USB キーボードと VGA モニターを背面パネルの対応するコネクタに接続します。

ステップ 3 Cisco IMC 設定ユーティリティを開き、次の手順を実行します。

- a) 前面パネルの電源ボタンを 4 秒間長押しして、アプライアンスを起動します。
- b) プロンプトが表示されたら、F8 を押して、Cisco IMC 設定ユーティリティを起動します。

Cisco IMC 設定ユーティリティに初めてアクセスすると、デフォルトのパスワード (password) を変更するように求められます。

デフォルトでは、強力なパスワード機能が有効になっています。強力なパスワードには次の条件が必要です。

- 8～14文字で指定されていること。
- ユーザー名が含まれていないこと。
- 次のうち少なくとも 3 つのカテゴリの文字を含むこと。
 - 大文字の英字 (A ～ Z)
 - 小文字の英字 (a ～ z)
 - 10 進数の数字 (0 ～ 9)
 - アルファベット以外の文字 (!, @, #, \$, %, ^, &, *, -, _, =, ")。

ステップ 4 手順に従って続行します。Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ (22 ページ)

設定時のアプライアンスへのリモート接続

始める前に

システムをリモートで設定するには、システムと同じネットワーク上に DHCP サーバーが存在する必要があります。このサーバー ノードの MAC アドレスの範囲を、DHCP サーバーにあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスは、前面パネルの引き抜きアセットタグにあるラベルに印字されています。このサーバー ノードでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のものです。

手順

ステップ 1 電源コードをアプライアンスの各電源装置に接続し、次に、接地された電源コンセントに各コードを接続します。

初回セットアップ時には、アプライアンスが起動してスタンバイ電源モードになるまでに約 2 分かかります。システムの電源ステータスは、前面パネルの電源ステータス LED で確認できます。LED がオレンジの場合、サーバはスタンバイ電源モードです。

ステップ 2 管理イーサネット ケーブルを背面パネルの専用管理ポートに差し込みます。

ステップ 3 事前設定された DHCP サーバーで、サーバー ノードに IP アドレスを割り当てられるようにします。

ステップ 4 割り当てられた IP アドレスを使用して、サーバー ノードの Cisco IMC にアクセスし、ログインします。

サーバのデフォルトのユーザ名は *admin* です。デフォルト パスワードは *password* です。

ステップ 5 [Cisco IMC Server Summary] ページで、[Launch KVM Console] をクリックします。

KVM コンソールウィンドウが開きます。

ステップ 6 [Cisco IMC Server Summary] ページで、[Power Cycle Server] をクリックします。

システムがリブートします。

ステップ 7 KVM コンソールウィンドウを開きます。

(注)

キーボード操作を有効にするには、KVM コンソールウィンドウがアクティブウィンドウである必要があります。

ステップ 8 プロンプトが表示されたら、F8 を押して、Cisco IMC 設定ユーティリティを起動します。

Cisco IMC 設定ユーティリティを初めて開くと、デフォルトのパスワードの変更を要求するプロンプトが表示されます。デフォルト パスワードは *password* です。

強力なパスワードには次の条件が必要です。

- 8～14文字で指定されていること。
- ユーザー名が含まれていないこと。
- 次のうち少なくとも 3 つのカテゴリの文字を含むこと。
 - 大文字の英字 (A ～ Z)
 - 小文字の英字 (a ～ z)
 - 10 進数の数字 (0 ～ 9)
 - 非アルファベット文字 (!, @, #, \$, %, ^, &, *, -, _, =, ")。

ステップ 9 手順に従って続行します。Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ (22 ページ)

Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムのセットアップ

始める前に

システムに接続して Cisco IMC 設定ユーティリティを開いた後、この手順を実行します。

手順

ステップ 1 NIC モードを設定して、サーバー管理用の Cisco IMC へのアクセスに使用するポートを選択します。

- [Shared LOM EXT] (デフォルト) : これは工場出荷時設定です。このモードでは、Shared LOM インターフェイスと Cisco Card インターフェイスが有効です。このオプションを選択した場合は、[ステップ 2 \(22 ページ\)](#) で NIC 冗長性設定にデフォルトの [Active-Active] を選択する必要があります。
- [Shared LOM] : Cisco IMC へのアクセスに 1 Gb または 10 Gb イーサネットポートを使用します。このオプションを選択した場合は、[ステップ 2 \(22 ページ\)](#) で NIC 冗長性設定に [Active-Active] または [Active-standby] を選択する必要があります。
- [Dedicated] : Cisco IMC へのアクセスに専用管理ポートを使用します。このオプションを選択した場合は、[ステップ 2 \(22 ページ\)](#) で NIC 冗長性設定に [None] を選択する必要があります。
- [Cisco Card] : Cisco IMC へのアクセスに VIC ポートを使用します。このオプションを選択した場合は、[ステップ 2 \(22 ページ\)](#) で NIC 冗長性設定に [Active-Active] または [Active-standby] を選択する必要があります。
- [VIC Slot] : Cisco Card NIC モードを使用する場合にのみ、VIC を取り付けた場所に合わせて、この設定を選択する必要があります。

ステップ 2 NIC 冗長性について、次のいずれかのオプションを選択します。

- [None] : イーサネットポートは個別に動作し、問題が発生した場合にフェールオーバーを行いません。この設定は、**専用 NIC モード**でのみ使用できます。
- [Active-standby] : アクティブなイーサネットポートに障害が発生した場合、スタンバイポートにトラフィックがフェールオーバーします。共有 LOM モードと Cisco Card モードでは、[Active-standby] または [Active-active] の設定を使用できます。
- [Active-active] (デフォルト) : すべてのイーサネットポートが同時に使用されます。共有 LOM 拡張モードを選択した場合は、この NIC 冗長性設定のみを使用する必要があります。共有 LOM モードと Cisco Card モードでは、[Active-standby] または [Active-active] の設定を使用できます。

ステップ 3 ダイナミック ネットワーク設定用に DHCP をイネーブルにするか、スタティック ネットワーク設定を開始するかを選択します。

(注)

DHCP をイネーブルにするには、DHCP サーバーにこのサーバーの MAC アドレスの範囲をあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスはサーバ背面のラベルに印字されています。このサーバでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のものです。

[Static IPv4 and IPv6 Settings] には次が含まれます。

- [Cisco IMC IP address] : IPv6 の場合、有効な値は 1 ～ 127 です。
- [Gateway] : IPv6 の場合、ゲートウェイが不明な場合は、:: (コロン 2 つ) を入力して **none** として設定できます。
- [Preferred DNS server address] : IPv6 の場合、:: (コロン 2 つ) を入力して **none** として設定できます。

ステップ 4 (任意) VLAN の設定を構成します。

ステップ 5 F1 を押して 2 番目の設定ウィンドウに移動したら、次のステップに進みます。

2 番目のウィンドウで **F2** を押すと、最初のウィンドウに戻ることができます。

ステップ 6 必要に応じて、次の手順を実行します。

- (任意) サーバーのホスト名を設定します。
- (任意) ダイナミック DNS (DDNS) をイネーブルにし、DDNS ドメインを設定します。
- (任意) デフォルトのユーザー パスワードを設定します。

(注)

サーバーのデフォルトのユーザー名は **admin** です。デフォルト パスワードは **password** です。

- (任意) ポート設定の自動ネゴシエーションをイネーブルにするか、ポート速度およびデュプレックス モードを手動で設定します。

(注)

自動ネゴシエーションは **Dedicated NIC** モードを使用する場合にのみ使用できます。自動ネゴシエーションはサーバーが接続されているスイッチ ポートに基づいて自動的にポート速度およびデュプレックス モードを設定します。自動ネゴシエーションをディセーブルにした場合、ポート速度およびデュプレックス モードを手動で設定する必要があります。

- (任意) ポート プロファイルとポート名をリセットします。

ステップ 7 設定を更新するには、F5 を押します。

ステップ 8 F10 を押して設定を保存し、サーバーを再起動します。

(注)

DHCP のイネーブル化を選択した場合、動的に割り当てられた IP アドレスと MAC アドレスが、サーバーのブートアップ時にコンソール画面に表示されます。

BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新



注意 BIOS ファームウェアをアップグレードする場合、Cisco IMC ファームウェアも対応するバージョンにアップグレードする必要があります。これを行わないと、サーバーは起動しません。

シスコは、BIOS、Cisco IMC、およびその他のファームウェアを互換性のあるレベルに同時にアップグレードできるよう支援するために、Cisco Host Upgrade Utility を提供しています。

このアプライアンスには、シスコが提供し、承認しているファームウェアが使用されています。シスコは、各ファームウェア イメージと共にリリース ノートを提供しています。

Cisco IMC の GUI または CLI を使用して Cisco IMC ファームウェアと BIOS ファームウェアをアップグレードできます。

システム BIOS へのアクセス

手順

ステップ 1 初期セットアップ中にメッセージが表示されたら、F2 キーを押して BIOS セットアップ ユーティリティに切り替えます。

このユーティリティのメインページに、現在の BIOS のバージョンとビルドが表示されます。

ステップ 2 矢印キーを使って、BIOS メニュー ページを選択します。

ステップ 3 変更するフィールドを強調表示するには、矢印キーを使用します。

ステップ 4 Enter キーを押して変更するフィールドを選択し、そのフィールドの値を変更します。

ステップ 5 Exit メニュー画面が表示されるまで右矢印キーを押します。

ステップ 6 Exit メニュー画面の指示に従って変更内容を保存し、セットアップ ユーティリティを終了します（または、F10 を押します）。

Esc キーを押すと、変更内容を保存せずにユーティリティを終了できます。

スマートアクセスシリアルをサポート

このサーバーは、スマート アクセス（シリアル）機能をサポートしています。この機能により、ホストのシリアルと Cisco IMC CLI を切り替えることができます。

- この機能には、次の要件があります。
 - サーバーの背面パネルの RJ-45 シリアルコネクタ、または前面パネルの KVM コンソールコネクタで DB-9 接続（KVM ケーブルを使用する場合）を使用できるシリアルケーブル接続。
 - サーバーの BIOS でコンソール リダイレクションを有効にする必要があります。
 - 端末タイプは、VT100+ または VTUFT8 に設定する必要があります。
 - Serial over LAN（SOL）を無効にする必要があります。
- ホストのシリアルから Cisco IMC CLI に切り替えるには、Esc キーを押した状態で 9 キーを押します。
接続を認証するために Cisco IMC クレデンシャルを入力する必要があります。
- Cisco IMC CLI からホストのシリアルに切り替えるには、Esc キーを押した状態で 8 キーを押します。
SOL 機能が有効になっている場合は、Cisco IMC CLI に切り替えることができません。
- セッションが作成されると、CLI または Web GUI に `serial` という名前が表示されます。

HDD/SSD 交換後の RAID コントローラの設定

HDD または SSD の交換後に RAID コントローラカードを設定する場合は、この手順を実行します。



（注） Cisco SNS 3800 アプライアンスには、Cisco ISE ソフトウェアが事前にインストールされています。

手順

ステップ 1 既存の HDD または SSD の交換。

ステップ 2 RAID コントローラの設定。

既存のHDDまたはSSDの交換

既存の HDD または SSD を交換するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1 アプライアンスへのログイン
- ステップ 2 左上隅にある [Menu] アイコンをクリックします。
- ステップ 3 [Storage] > [Cisco RAID Controller] > [Controller Info] の順に選択します。
- ステップ 4 [Clear Boot Drive] をクリックします。
- ステップ 5 [OK] をクリックして、ブートドライブをクリアします。
- ステップ 6 [Virtual Drive Info] をクリックします。
- ステップ 7 [Virtual Drives] ウィンドウで仮想ドライブを選択し、[Delete Virtual Drive] をクリックします。
- ステップ 8 [Physical Drive Info] をクリックします。
- ステップ 9 [Physical Drives] ウィンドウで物理ドライブを選択し、[Prepare for Removal] をクリックします。

(注)

ドライブを削除すると、Cisco ISE がアンインストールされます。HDD または SSD を交換したら、Cisco ISE を再インストールする必要があります。

RAID コントローラの設定

RAID コントローラを設定するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1 アプライアンスへのログイン
 - ステップ 2 左上隅にある [Menu] アイコンをクリックします。
 - ステップ 3 [Storage] > [Cisco RAID Controller] > [Controller Info] の順に選択します。
 - ステップ 4 [Create Virtual Drive from Unused Physical Drives] をクリックします。
- (注)
- ドライブを挿入すると、Just a Bunch of Disks (JBOD) モードで構成されているように表示される場合があります。ドライブを仮想ディスクに追加する前に、ドライブ構成を解除する必要があります。
- ステップ 5 [RAID Level] ドロップダウンリストから、アプライアンスの RAID を選択します。
 - ステップ 6 [Create Drive Groups] セクションでグループ化するドライブを選択し、選択したドライブを [Drive Groups] ペインに移動します。

要件に基づいてさまざまなグループを作成できます。

ステップ 7 [Virtual Drive Properties] セクションの [Write Policy] ドロップダウンリストで、[Write Back Good BBU] を選択します。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

[Virtual Drive Info] タブで、RAID 構成が成功したかどうかを確認できます。

ステップ 9 新しく交換した HDD または SSD に Cisco ISE をインストールします。

詳細については、[Cisco UCS Server Configuration Utility ユーザーガイド](#) [英語] の「Configuring RAID Levels」を参照してください。

SED のドライブセキュリティの有効化

SED または SED-FIPS ドライブを使用している場合、次の手順に従ってリモートキー管理を有効にします。

手順

ステップ 1 左上隅にある [Menu] アイコンをクリックします。

ステップ 2 [Admin] > [Security Management] > [Secure Key Management] の順に選択します。

ステップ 3 KPMI（暗号化ドライブのキー管理プロトコル）サーバーの詳細を入力します。

ルート CA 証明書、クライアント証明書、およびクライアント秘密キー証明書を割り当てます。

ステップ 4 [Enable Secure Key Management] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [Storage] > [Cisco 12G SAS RAID Controller] > [Controller Info] の順に選択します。

ステップ 6 [Enable Drive Security] をクリックします。

ステップ 7 [Remote Key Management] ラジオボタンをクリックし、[Save] をクリックします。

ステップ 8 [Virtual Drive Info] をクリックします。

ステップ 9 [Virtual Drives] ウィンドウで仮想ドライブを選択し、[Secure Virtual Drive] をクリックします。

ドライブセキュリティが有効になっているドライブの [Virtual Drive Number] 列にロックアイコンが表示されます。



第 3 章

アプライアンスの仕様

この章では、アプライアンスの物理仕様、環境仕様、および電源仕様を示します。

- [物理仕様 \(29 ページ\)](#)
- [環境仕様 \(29 ページ\)](#)
- [電源仕様 \(30 ページ\)](#)
- [電源コードの仕様 \(31 ページ\)](#)

物理仕様

次の表にアプライアンスの物理的仕様を示します。

表 3: 物理仕様

説明	仕様
高さ	43.2 mm (1.7 インチ)
幅	429.0 mm (16.9 インチ)
奥行 (長さ)	サーバーのみ : 762 mm (30 インチ) サーバーとスライドレール : 800.1 mm (31.5 インチ)
重量	• 最大 : 19.30 kg (42.43 ポンド) • 最小 : 10.13 kg (22.32 ポンド)

環境仕様

次の表に、アプライアンスの環境要件および仕様を示します。

表 4: 環境仕様

説明	仕様
動作時温度	10°C ～ 35°C (50°F ～ 95°F) 、直射日光なし。 海拔 300 メートル (984.2 フィート) ごとに最高温度が 1°C 低下。
非動作時温度 (サーバが倉庫にあるか運送中の場合)	-40°C 以下または 65°C 以上 (-40°F 以下または 149°F 以上) 最大変化率 (動作時と非動作時) 20°C/時間 (36°F/時間)
湿度 (RH) (動作時)	8% ～ 90%、最大露点温度 24°C (75°F) 、結露なきこと
湿度 (RH) (非動作時) (サーバが倉庫にあるか運送中の場合)	5%以下または95%以上、最大露点温度33°C (91°F) 、結露なきこと
動作時高度	0 ～ 3,048 メートル (0 ～ 10,000 フィート)
非動作時高度 (サーバが倉庫にあるか運送中の場合)	0 ～ 12,192 メートル (0 ～ 40,000 フィート)
音響出力レベル ISO7779 に基づく A 特性音響出力レベル LwAd (Bels) を測定 73°F (23°C) で動作	5.8
騒音レベル ISO7779 に基づく A 特性音圧レベル LpAm (dBA) を測定 73°F (23°C) で動作	43

電源仕様



(注) サーバーでは、タイプやワット数の異なる電源装置を組み合わせ使用しないでください。両方の電源装置が同じである必要があります。

1200 W AC 電源装置

この項では、1200 W AC 電源装置の仕様を示します。

表 5: 1200 W AC 電源装置の仕様

説明	仕様
AC 入力電圧	100 ～ 230 VAC
AC 入力周波数	50 ～ 60 Hz
最大 AC 入力電流	100 VAC で 12.97 A
最大入力電圧	208 VAC で 1345 VA
最大突入電流	20 A
最大保留時間	12 ms @ 1200 W
PSU あたりの最大出力電力	100 ～ 120 VAC で 1100 W 208 ～ 230 VAC で 1200 W
電源装置の出力電圧	12 VDC
電源装置のスタンバイ電圧	12 VDC
効率評価	Climate Savers プラチナム効率 (80Plus チタン認定)
フォーム ファクタ	RSP2
入力コネクタ	IEC320 C14

電源コードの仕様

アプライアンスの各電源装置には、電源コードがあります。



(注) 認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードのみサポートされています。

表 6: サポートされる電源コード

説明	長さ (フィート)	長さ (メートル)
CAB-48DC-40A-8AWG DC 電源コード、-48 VDC、40 A、8 AWG 3 線の 3 ソケット Mini-Fit コネクタ	11.7	3.5

CAB-C13-C14-AC 電源コード、10 A、C13 ～ C14、埋め込み型コンセント	9.8	3.0
CAB-250V-10A-AR AC 電源コード、250 V、10 A アルゼンチン	8.2	2.5
CAB-C13-C14-2M-JP 電源コード、C13 ～ C14 日本 PSE マーク	6.6	2.0
CAB-9K10A-EU AC 電源コード、250 V、10 A、CEE 7/7 プラグ 欧州	8.2	2.5
CAB-250V-10A-IS AC 電源コード、250 V、10 A イスラエル	8.2	2.5
CAB-250V-10A-CN AC 電源コード、250 V、10 A 中華人民共和国	8.2	2.5
CAB-ACTW AC 電源コード、250 V、10 A 台湾	7.5	2.3
CAB-C13-CBN AC キャビネット ジャンパ電源コード、250 V、10 A C13 ～ C14	2.2	0.68
CAB-C13-C14-2M AC キャビネット ジャンパ電源コード、250 V、10 A C13 ～ C14	6.6	2.0
CAB-9K10A-AU AC 電源コード、250 V、10 A、3112 プラグ オーストラリア	8.2	2.5

CAB-N5K6A-NA AC 電源コード、200/240 V、6 A 北米	8.2	2.5
CAB-250V-10A-ID AC 電源コード、250 V、10 A インド	8.2	2.5
CAB-9K10A-SW AC 電源コード、250 V、10 A、MP232 プラグ スイス	8.2	2.5
CAB-250V-10A-BR AC 電源コード、250 V、10 A ブラジル	8.2	2.5
CAB-9K10A-UK AC 電源コード、250 V、10 A（13 A ヒューズ）、BS1363 プラグ 英国	8.2	2.5
CAB-9K12A-NA AC 電源コード、125 V、13 A、NEMA 5-15 プラグ 北米	8.2	2.5
CAB-AC-L620-C13 AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13 コネクタ	6.6	2.0
CAB-9K10A-IT AC 電源コード、250 V、10 A、CEI 23-16/VII プラグ イタリア	8.2	2.5
R2XX-DMYMPWRCORD 電源コードなし（電源コードなしでアプライアンスを注文する際の PID オプション）	該当なし	該当なし

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。